

## 42 理療教育における臨床実習前試験の実践 —OSCE の導入—

自立支援局 理療教育・就労支援部 理療教育課 佐取幸枝, 舘田美保, 米田裕和, 高橋忠庸,  
加藤麦, 小泉貴, 中西初男, 松浦久泰, 滝修, 伊藤和之

【背景】理療教育課では、平成 25～27 年度自立支援局運営方針上の業務「標準的なサービスの体系化」の一環として「臨床をコアにした理療教育の推進」に取り組んだ。目標は、コア・カリキュラムの推進である。学年内及び学年間で評価の一貫性を追究するため、平成 26 年度から、客観的臨床能力試験 (OSCE) を試行してきた。今般、あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゆう師に係る学校養成施設認定規則改正 (平成 29 年 4 月 1 日施行) により、実習科目に臨床実習前施術実技試験等を含むことが規定された。自立支援局 4 センターでは、3 年次及び 5 年次臨床実習に備えて、2 年次及び 4 年次応用実習に臨床実習前試験 (以下、「前試験」とする) を組み込むこととし、平成 30 年度利用開始者から適用とした。当課は、平成 30 年度業務分掌に前試験を位置づけ、本格実施を想定した実践を行ったので報告する。

【目的】臨床実習前における利用者の知識、技術及び態度の習得状況を評価し、事後の教育上の資料を得ることを目的とした。

【方法】前試験は後期期末試験に含め、OSCE の形式を導入した。教官 10 名によるワーキンググループ (WG) が、評価ステーション (ST) の内容と実施方法を検討した (表 1)。ST の構成は、医療面接、身体診察、技術評価 4 種 (あん摩、鍼) の 6ST。各 ST は移動時間を含め 20 分。評価者群が移動し、受験者は 1 ヶ所で受験することとした (表 2)。評価尺度は 4 件法を基本とし、評価基準、評価項目を、各 ST リーダーを中心に検討し、WG 及び課内会議で議論した。晴眼及び弱視の教官は視認評価を、全盲の教官は模擬患者及び感覚評価を担うほか、課題読み上げ、時間管理等を分担した (表 3)。試験会場は実技室及び教室。受験者は理療教育専門課程 2 年生 10 名及び高等課程 2 年生 1 名。実施者は講師を含む教官 24 名。実施日は 2019 年 1 月 9～11 日。実施時間帯は午後の授業時間及び放課後とした。

【結果と考察】11 名全員が受験した。教官への事後アンケートでは、課題設定、評価項目及び基準は適切で、試験時間、評価者の身体的負荷も適当とする一方、OSCE の理解が一律でない面や、ST 数が多いため、人員不足を指摘する回答があった。受験者への事後アンケートでは、受験方法の理解と受験の準備は十分だが、当日は時間に追われたとする回答もみられた。ST の順番が必ずしも臨床の流れと一致しない点は、不具合を感じる者が少なかった。各 ST の評価項目は臨床実習で最低限必要とされる知識、技術及び態度、即ち基本的臨床技能を表現し、評価基準は臨床実習に出るに値するレベルを表す。各 ST とも、OSCE の特長である複数評価は機能したが、評価内容の妥当性の検討と、評価の精度を上げる準備を続ける必要がある。また、ST 数と担当人員の適正化は、受験者の円滑な受験を保証するため、今後の課題と考えられる。

表1 平成30年度前試験実施に係るワーキンググループの活動

回	期日	内容
1	2017/11/1	<実習担当者会議> 現行の実技試験について情報共有 応用実習到達目標(レベル)意見集約
2	2018/1/10	H31年度の作業計画案の作成 用語の統一
3	2018/1/31	タイムテーブル案作成 評価の取扱い(総括的、形成的、割合等)
4	2018/3/5	タイムテーブル案作成 評価の取扱い
5	2018/4/4	評価方法及びスケジュール確認 応用実習到達目標について
6	2018/6/5	タイムテーブルの決定
7	2018/10/1	STリーダー、役割分担の決定 説明会の実施計画
8	2018/11/1	試験実施要領及び受験者説明会資料の作成
9	2018/11/29	評価シート、模擬患者シナリオ作成(各ST) 課内全体説明会に向けて
	2018/12	受験者説明会 課内全体説明会
	2019/1/9~11	臨床実習前試験
	2019/2	アンケート実施
10	2019/3	試験後の課題確認と次年度の方針

表2 各ステーションのタイムスケジュール例(2019/1/9 専門課程5名)

受験者	会場	～13:45	13:50～14:10	14:10～14:30	14:30～14:50	14:50～15:10	15:10～15:30	15:30～15:50	15:50～16:20
A	2実	準備	あ応用A	あ応用B	医療面接	身体診察	は応用I	は応用II	片付け
B	3実	準備	は応用II	あ応用A	あ応用B	医療面接	身体診察	は応用I	片付け
C	4実	準備	は応用I	は応用II	あ応用A	あ応用B	医療面接	身体診察	片付け
D	5実	準備	身体診察	は応用I	は応用II	あ応用A	あ応用B	医療面接	片付け
E	6実	準備	医療面接	身体診察	は応用I	は応用II	あ応用A	あ応用B	片付け

表3 6ステーションと教官配置

ST	1 医療面接	2 身体診察	3 はき応用実習 I	4 はき応用実習 II
メンバー ○STリーダー	○伊藤 飯塚 小笠原 藤原	○小泉 中西 新井 池田 渡邊	○米田 島村 滝	○加藤 麻生 柴田
ST	5 あま指応用実習A	6 あま指応用実習B	進行	監督
メンバー ○STリーダー	○高橋 浮田 漆畑	(○高橋) 牧 松浦 吉野	漆畑 江黒	○館田 佐取

※ 5STと6STは同じ内容のため、STリーダーは兼任